

記載例1:双方日本人で日本の方式で婚姻

窓口で届出をする日、
若しくは郵送する日
を記載してください。

婚姻届

令和 XX 年 XX 月 XX 日 届出

在メルボルン日本国総領事 殿

元号で記入。

選択した方が戸籍
の筆頭者になる。

楷書体で署名。（※
署名は必ず手書きし
てください。）

<記入の際の注意事項>

- ・届出はすべて日本語（漢字・カタカナ・ひらがな）で書いてください。
- ・黒インクのペンまたは黒のボールペン（消せるボールペンは不可）で丁寧に書いてください。
- ・South Australia は南オーストラリア州と記載してください。
- ・不明な点がある場合は、当館までお問い合わせください。

	夫 になる 人	妻 になる 人
(フリガナ)	ガイム タロウ	ザイガイ ハナコ
(1)氏 名	氏 名	氏 名
	外務 太郎	在外 花子
生 年 月 日	平成 XX 年 XX 月 XX 日	平成 XX 年 XX 月 XX 日
(2)住 所	オーストラリア連邦ビクトリア州 ブライトン、〇〇通り570番	同 左
(3)本 籍	東京都千代田区 霞が関二丁目2番地 2	神奈川県 横浜市 西区 幸町3番地
(外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	筆頭者の 氏名 外務 一郎	筆頭者の 氏名 在外 義太郎
父 母 及 び 養 父 母 の 氏 名 父 母 と の 続 き 柄	父 外務 一郎 続き柄 母 花子 長 男	父 甲野 次郎 続き柄 母 在外 正子 二 女
(右記の養父母以外にも 養父母がいる場合には その他の欄に書いてください)	養父 養母	養父 在外 義太郎 続き柄 養母 養 女
(4)婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	☒ 夫の氏 新本籍(左の☑の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください) ☐ 妻の氏 東京都千代田区霞が関 二丁目2番地 2	
(5)同居を始めたとき	令和 XX 年 XX 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)	
(6)初婚・再婚の別	☒ 初婚 再婚 ☐ 死別 ☐ 離別 年 月 日 ☐ 初婚 再婚 ☐ 死別 ☒ 離別 平成 XX 年 XX 月 XX 日	
(7)同居を始める 前の夫婦のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	夫 妻 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 夫 妻 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 夫 妻 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯 (日々または1年未満の契約の雇用者は5) 夫 妻 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 夫 妻 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 夫 妻 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年… 年…の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)	
(8)夫 婦 の 職 業	夫の職業 02	妻の職業 03
そ の 他	令和 年 月 日 の方式により婚姻成立、作成の 婚姻証書添付。	
届 出 人 署 名 (※押印は任意)	夫 外務 太郎	妻 在外 花子
事 件 簿 番 号		
日中連絡のつく電話番号： 04XX-XXX-XXX		
Eメールアドレス： 〇〇〇@〇〇.com		

証人は、成年であれば国籍は問いません。

外国籍の方が証人になる場合は、本人がブ
ロック体で署名し、どなたかがカタカナでフ
リガナをふってください。

証 人	
署 名 (※押印は任意) 生 年 月 日	山川 浩介 印 昭和 XX 年 XX 月 XX 日 西暦 19 XX 年 XX 月 XX 日
住 所	オーストラリア連邦ビクトリア州 フレミントン、〇〇通りXX番地
本 籍	東京都杉並区清水町 一丁目52番地

父母がいま婚姻しているときは、母の氏
は書かないで、名だけ書いてください。
養父母についても同じように書いてくだ
さい。

本籍地はダッシュ「-」等を使わず戸籍
通りに記載。書き間違えた場合は線で消
してください。修正液は使用不可。※訂
正印は任意。

新本籍地を現在とは別の場所に置く場合は、事
前に新本籍を置きたい土地を 管轄する市区町村
役場の戸籍課にその土地に本籍を置く事ができ
るか確認の上、正しく記載してください。

「職業例示表」を参照し、当てはまる
職業の「番号」若しくは「職業分類
名」を記入してください。

押印する場合は、印鑑又は右手
の親指で拇印を押してください。
(※押印は任意)

日中連絡のつく電話番号とE
メール アドレス を書いてくださ
い。